

本日初公開、アシスタントマネージャー岡村恵さんの横顔をご紹介します



はじめまして、4月から西船橋校のアシスタントマネージャーの仕事を担当しています岡村恵と申します。入社当初から、講師の方々の英語に対する熱意・生徒の皆様の意欲的な姿に感激させられています。特に、茅ヶ崎方式・英会話共に授業内容の質の高さ、その背景にある講師の方々の準備の徹底さに驚いています。そんな授業に向かわれる生徒の皆様の中をうらやましく思いつつお見送りしながら、日々一生懸命仕事を覚えているところです。

私が異文化に興味を持ち始めたのは、小学校低学年の頃だったと思います。家族で出かけた遊園地で、乗り物の順番を待つ蛇行する列の中で退屈な時間を持て余していた時、離れた列に外国人の女の子を見つけました。黒人で、同じ年くらい、髪の毛には沢山細かい三つ編みがされていて、カラフルなビーズが編みこまれていました。目が合い、私に微笑みかけました。私もつられて笑顔になりました。手を振ってきたので私も振り返りました。会話ができたわけではありませんし、ほんの小さな出来事でしたが、とても嬉しくて、家に帰ってから、その女の子のことを覚えていたくて絵に書きました。もう二度と会えないのでせつなく感じたことを覚えています。小さいなりに異国の風を感じ、いつしかあこがれになりました。

ですが、その後順調に英語が好きになったわけではありません。中学校で初めて英語を勉強し、文法が理解できず、一年ですでにつまずいていました。ボキャブラリーを増やすことを受験前に通った塾で教えていただいて以来、長文を少しずつ解読できるようになり、得意かもしれないと高校で勘違いをし、大学で英語を専攻することになりました。

大学で痛感したのは、定期性の大切さです。たまにまとまった時間勉強するよりも、少しずつでも定期的に時間を取るほうが効果があるように思いました。短期ホームステイはその成果や自分の能力を知る助けになりました。また、会話の訓練も必要でしたが、私に特に必要だと感じたのは、自分の考えを持つことでした。意見を求められても主張することが

何もなくて、いかに普段漫然と過ごしていたかを痛感することが何度もありました。停滞していると感じた時でもやめなかったのは、英語や外国に対するあこがれがあったからです。単純な動機ですが、原動力でした。ある時読んだ「言語の学習は、草の成長を見るようなものです。その成長の様子は見えませんが、それでも草は日ごとに伸びています。」という例えに励まされたことを覚えています。学び始めた時のことを思い出し、そこからは進歩していると自分を励ましながらの4年間でした。

私も生徒の皆様と同じく勉強中です。話せないもどかしさを毎日のように感じていますが、それをばねにこれからも勉強していこうと思っています。何より、皆様の言語習得のお役に立てられればと思っています。未熟ですが頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

西船橋校アシスタントマネージャー
岡村恵



佐倉市王子台
あぜりあ らんげーじすくーる・佐倉本校

あぜりあさん

「生きた英語」で指導歴23年 No.3

小学校で始まっている 育字会にも掲載された。同スクールは、最新の英語の早期教育について この論文は、元ソニー ニュース学が「茅ヶ崎の論文が読者の中で、「1千人の小学生を対象に、子大学や植草学園大学の 大人の多くは、新発見が来その生徒が中学生になるまで進捗調査」を行い、非習熟度評価を移る勝山 ひとみさんが、同スクール EIC のスコアもアップ早期の効果(英語力)と英語の代表として「23年間 とも中学・高校の英語教諭への意欲を検証し、実践して来た、幼児期から関係なく、時事英語と英字で示した論文に注目」の英語指導の重要性を立証させたい」と母校の 会誌で目録達成、勝山さん 千葉大・同大文芸院の西垣、も目録達成、勝山さん 任問在教授の援助を得て んはエールを送る。津田 完成させた。 沼・西船橋校も関係

元気で

エリート情報 4月28日号に掲載された記事です。

『短期語学留学のススメ』

語学留学というと日本人は比較的長期で考えますが、学校では1週間や2週間できている人も沢山いました。仕事の合間の Vacation できているのです。9:00~12:30まで授業を受けて、その後はフリーで街中を散策できます。名所をまわり、Café でコーヒータイムを楽しみ、夜はクラスメイトとバーへいく、フラメンコを見に行く。宿泊先は、ホームステイや学校の寮もありますが、個別でアパートを手配してもらっている方もいました。いずれにしてもホテルですと泊まるよりは経済的で居心地もよいです。これはヨーロッパ流の賢い休暇の過ごし方だと感心しました。

もう一つ印象的だったことは、多様な生徒を受け入れていたことでしょうか。クラスには60代のドイツ人の女性がいましたが、定年まで働き、今はいつかエクアドルのガラパゴス諸島に行きたいからスペイン語の勉強をしにきているという方でした。アメリカ人の30代男性の男性はカップルで来ていて、別のクラスでしたが、奥さんも一緒に勉強されていて驚きました。

実は、行く前は今の初級レベルで留学するより、もっとレベルを上げてから行く方が身になると思っていました。しかし、実際に行ったことで語学というものが生活や文化と結びついている様を毎日体感し、それはもはや数学のような机上の勉強ではなくなってきて、帰国する時には「必ず流暢に話せるようになってもっといろんなことを知りたい!」という強いモチベーションと共に帰ってくることができました。留学することで語学力はもちろんのこと、自分の視野が広がります。これは、とても貴重な経験だと思ひます。

講師 金原 倫子